



撮影場所:北社市小淵沢町岩窪地内

### 懐かしい風景の中を走る小海線。大きな弧を描き、列車は急勾配をゆっくり進む。

揺れるススキの中をコトコトと走る小さなディーゼルカー。

懐かしい風景の中を走る小海線は、山梨の小淵沢から長野の小諸までの78.9kmを結び、JRの駅標高トップ9までを有する高原鉄道です。

小淵沢駅から間もなくのところにあるこの半円形の軌道は、「大曲（おおまがり）」と呼ばれています。半径は、

鉄道の限界に近い200mで、その昔、小海線が8両編成だったころには、先頭車両に乗っていると、その弧を描く急カーブのため、最後尾の車両を斜め横から見る事ができたそうです。

列車は、小淵沢駅を出て、いったん隣り駅とは反対方向に進み、ここで大きく曲がりながら高度を稼ぎ、JR日本最高地点の野辺山駅へと登り続けます。

この夏からは、営業車として世界初のハイブリッド鉄道車両も誕生した小海線。懐かしさの中にも新しい魅力が加わりました。